

2021 年度入学者選抜における変更について（予告）

2018 年 11 月 22 日

名古屋大学

2020 年度に実施される 2021 年度入学者選抜から、「学力の 3 要素」をさらに多面的・総合的に評価するものへと見直しを図ることを踏まえ、実施方法を以下のとおり変更します。

1. 英語の 4 技能評価について

一般入試の全志願者に CEFR 対照表の A2 レベル以上に相当する英語力を出願資格として求めます。A2 レベル以上であることは、認定試験の成績又は高校の調査書等の記載を利用して確認します。

なお、調査書等の記載内容や例外措置等の詳細、及び推薦入試における取扱いについては、2019 年 1 月頃に公表します。

2. 大学入学共通テストの外国語試験について

一般入試の全受験者に、大学入学共通テストの外国語試験（英語の場合、リスニングを含む）を課します。共通テストを課す推薦入試については、原則として一般入試と同様とします。

3. 大学入学共通テストの記述式試験問題の利用について

一般入試の全受験者に、大学入学共通テストの記述式問題を課します。共通テストを課す推薦入試については、原則として一般入試と同様とします。

国語

記述式問題の段階別評価を点数化してマーク式問題の得点に加算し、200 点満点に換算します。

※配点等については、試行調査（プレテスト）等の結果を見て判断し、今後公表します。

数学 I・数学 A

記述式問題とマーク式問題の得点を合計し、100 点満点とします。

以上は、本学の 2021 年度入学者選抜に係る変更事項の一部です。主体性評価における調査書等の活用方法等を含むその他の変更事項については、今後準備が整い次第、速やかにホームページ等で公表します。

以 上